

研究課題名	腹膜透析における腹膜機能低下機序についての実験的検討
研究期間	実施許可日 ～ 2026年12月31日
研究の対象	本研究（E2020-2185(E-2185)）において、既に文書にて同意済の研究対象者の皆様
研究の目的・方法	<p>研究目的：</p> <p>腎臓病が進行して透析療法を受けておられる患者さんの数は年々増加しています。透析療法には血液透析と腹膜透析がありますが、呉医療センター腎臓内科では、腹膜透析を行っている患者さんのためにより良い治療が行えるよう、腹膜についての研究を行っています。腹膜透析を行っている、徐々に腹膜が劣化して腹膜機能低下を認めるようになります。そのため現状では、腹膜透析は一生できる治療ではなく、いずれ血液透析へ変更になることや、腎移植を必要とするのが一般的です。腹膜機能低下の機序を研究することで、将来的には同じ腹膜透析患者の方へのより良い治療の提供や、管理の仕方の向上につながる可能性があります。</p> <p>研究の方法：</p> <p>腹膜平衡試験の際に得られる腹膜透析液の排液を研究に利用させて頂きたいと考えます。その他、あなたの診療情報をコンピューターに登録します。集約されたデータは学会発表や学術論文で使用させていただくことがありますが、個人の情報については公表されることはありません。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：性別、透析歴、血清クレアチン濃度など</p> <p>試料：腹膜透析液の排液</p>
外部への試料・情報の提供	<p>広島大学へ試料・情報の提供を行います。</p> <p>（広島大学より外部へ試料・情報の提供は行いません。）</p>
利用または提供を開始する予定日	実施許可日 2024年 9月 25日 ～
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	<p>代表機関の研究責任者（研究代表者）</p> <p>広島大学病院 腎臓内科 教授 正木 崇生</p> <p>共同研究機関</p> <p>一陽会 原田病院 土井俊樹</p> <p>独立行政法人国立病院機構 呉医療センター 高橋俊介</p>

	<p>国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 川岡孝一郎</p>
その他	<p>※本研究に参加いただくにあたり、既に文書にて同意を取得済の研究対象者の皆様へ、研究計画が変更された内容についての情報公開を兼ねています。</p> <p>【変更内容】共同研究機関の追加</p>
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究の詳細については、同意説明時にお渡しした説明文書にてご確認ください。</p> <p>本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。</p> <p>広島大学病院 腎臓内科 医師 正木崇生 佐々木健介 尾崎陽介 原 大輔 村岡史朗 藤井賢治 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 臨床管理棟 2F 電話番号：082-257-1506</p> <p>独立行政法人国立病院機構 呉医療センター 腎臓内科 科長 高橋 俊介 〒737-0023 広島県呉市青山町3番1号 電話番号：0823-22-3111</p>